

矢沢小学校

教職員転出のお知らせ (敬称略)

矢沢中学校

職 種	ご 氏 名	転 出 先
教 諭	戸 來 律子	矢沢中学校に再任用
教 諭	千 葉 早依子	退職
教 諭	吉 田 英彰	盛岡大学准教授就任
教 諭	菅 原 紀子	退職 (再任用)
教 諭	角 舘 淳子	花巻市立若葉小学校
教 諭	藤 澤 稚代	花巻市立八幡小学校
教 諭	小 西 裕子	花巻市立湯本小学校
主任行政 専門員	高 橋 美智子	花巻市立宮野目小学校
校 務 員	佐々木 勉	退職

職 種	ご 氏 名	転 出 先
校 長	佐々木 律夫	退職
副校長	平 澤 晋	花巻市立花巻中学校
教 諭	阿 部 伊佐美	退職
教 諭	西 りく子	退職 (アブダビ日本人学校)
教 諭	勝 部 明美	紫波町立紫波第一中学校
教 諭	阿 部 桂子	盛岡市立見前南中学校
講 師	玉 山 明	退職
講 師	佐 藤 寿彦	花巻市立湯本小学校
主任主査	鈴 木 幸司	盛岡市立見前南中学校

上記先生方の他に講師、サポーターや共有推進委員の8名の先生方も転任や退職となっています。

★ 矢沢の子ども達の成長にご尽力いただき、誠にありがとうございました。新たな場面での活躍をご祈念申し上げます。

◎ お知らせ 明老大学は今年度から「明朗大学」と名称変更します！

矢沢明老大学は、令和6年度で45回目を迎える矢沢地域振興会の主要事業、伝統ある生涯学習として皆様に親しまれてきました。今までは矢沢地域内の老人クラブの皆様を主体として開催してきましたが、昨今の老人クラブ数の減少や一般受講生の増加等を踏まえ、今年度から全ての受講生を矢沢地域振興会として一般応募したいと考えております。この際、名称も「矢沢明朗大学」と改め、5月21日(火)に開講式を迎えることで準備を進めているところです。更に内容を充実し地域の皆様の期待に応えたいと考えており、皆様多数の応募をお待ちしているところです。応募方法等の詳細は今後「やまぼうし」でお知らせいたします。また、昨年度の受講生の皆様には別途個人あてにお知らせで周知することとしております。

♥ 「やさわこども広場」で待っています! (4月は10日(水) & 24日(水)) ♥

矢沢地域振興会の子育て支援事業部会(伊藤裕子部会長)では、今年度も地域の子育てを支援すべき「こども広場」と新生児への記念品贈呈事業を行います。気軽に矢沢振興センターへ足をお運びください。子育てボランティアのみなさんが心からお待ちしています。【矢沢振興センター ☎ 23-2171】



◎ 矢沢地区小地域福祉活動計画 第3回策定委員会 開催

矢沢地区小地域福祉活動計画策定委員会（佐藤和見委員長）では、2月29日に矢沢振興センターで第3回策定委員会を開催しました。会議では、事務局から矢沢地区住民福祉活動計画（今回から名称変更・令和6年度～令和10年度）の提案説明があり満場一致で承認されました。この矢沢地区住民福祉活動計画については、4月5日開催の矢沢地域振興会役員会でも説明会を開き、今後住民の皆さんに周知する予定となっています。

続いて情報共有のための意見交換があり、発言順に高松第三行政区ふるさと地域協議会の熊谷哲周事務局長から「地域の足確保」「一人暮らしへの弁当提供」について事例紹介。やさわの園の榎林みず穂園長からは「福祉施設へのボランティア活動参加」「福祉関係の講演等」の提案。矢沢小学校の冨手冬樹副校長から「小学校での福祉活動のカリキュラムへの導入」についての考え方。矢沢地区民生児童委員協議会の佐藤智明会長から「民生児童委員の福祉施設等への関わり方」の考え方。佐藤峰樹市議会議員からは「公共交通問題への市の対応」としてデマンド交通導入の紹介、とそれぞれの立場から意見を述べられました。なお令和6年度以降も基本的に現在の21名体制で引き続き策定委員会を開催することになっています。



「矢沢地区住民福祉活動計画」を説明する事務局・神山南さん



✿ 移動図書館（ぎんが号）運行日程 ✿

4/11 (木)	団地会館	13:40~14:00
4/11 (木)	福祉センター	14:15~14:45
4/17 (水)	高木観音	09:20~09:50
4/17 (水)	振興センター	10:05~10:35
4/17 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

【事務局員のつぶやき】（暖冬なのに2月末の沿岸北部の大雪とは！）

宮古の雪に関する記録については、降雪の記録は1953年（昭和28年）、積雪の記録は1884年（明治17年）からありますが、降雪の深さ日合計の多い方トップ10位以内に2月が8回、3月が2回記録されています。言うまでも無く南岸低気圧が発達しながら三陸沖を北上し、気温が0度前後の湿り雪の大雪をもたらしています。今年の2月27日最深積雪67cm（第9位）、日降雪量50cm（第4位）となった大雪の場合を天気図から見てみます。左下図の2月27日03時の地上天気図から、台風並みに猛烈に発達した南岸低気圧が北上し、別の副低気圧が三陸沖をゆっくりと南下しており、この小低気圧を回り込む形で沿岸北部に湿った気流が流れ込んでいます。また等圧線が南北に混んでおり、北寄りの風が強まっていることが分かります。下右図は850hPaの風と等温線及び700hPaの湿り（網掛け部分が湿っていることを示す）を表しています（2月26日21時）。これから岩手県沿岸北部に暖かく湿った空気が冷たい空気の上に乗っている状況が想定されます。岩手県沿岸北部から南東に収束線がみられ、この北側が東寄りの風、南側が西寄りの風と風向きの違いが明瞭になっていることが分かります。沿岸北部は北東風の吹きつけと地形効果もあり、また低気圧の動きが比較的遅く同じパターンが持続したため、雪の量が多くなり記録的なドカ雪となったと思われます。なお3月3日の花巻25センチ？（我が家で測定）の降雪は、3月3日15時頃に前線を伴う小低気圧が岩手県を通過したことによります。（ちなみに3月3日は昭和8年に昭和三陸地震津波の発生した日です）。

